

第16回 直方市中心市街地活性化協議会 議事録

(開催要領)

開催日時：平成29年9月1日(金) 11時00分～11時30分

場 所：直方商工会議所 4階 大ホール

出席委員：委員総数 28名 出席委員 18名

オブザーバー 7名

定刻、前記のとおり出席があったので、事務局より開会を宣し、永富会長が挨拶を述べた後、議長となって議事に移る。

(1)平成28年度 事業報告・収支決算について

事務局より、平成28年度 事業報告が下記の通り行われた。

【平成28年度 事業報告】

1. 直方市中心市街地活性化協議会の開催
2. 中心市街地活性化事業への支援中心市街地活性化基本計画の事業評価
3. 中心市街地商業活性化アドバイザー派遣事業の活用
4. サンリブ直方店の利用者アンケートの実施

引き続き、事務局より、平成28年度直方市中心市街地活性化協議会収支決算について報告された。その後、議長は、本件について可否を問うたところ、一同異議なくこれを承認した。

(2)平成29年度 事業計画(案)・収支予算(案)について

事務局より、平成29年度 事業計画(案)について説明が下記の通り行われた。

【平成29年度 事業計画(案)】

1. 直方市中心市街地活性化協議会の開催
2. 民間事業への支援
3. 中心市街地活性化事業への支援
4. 中心市街地商業活性化アドバイザー派遣事業の活用

引き続き、事務局より、平成29年度収支予算(案)について提案がなされた。その後、議長は、本件について可否を問うたところ、一同異議なく承認された。

(3) 中心市街地活性化事業の取組状況報告及び効果の検証について

直方駅周辺整備事業及び中心市街地活性化事業の効果の検証について、直方市商工観光課より資料の「平成28年度中心市街地活性化事業の効果の検証」に基づき、以下の通り説明がなされた。

目標①の「中心部の都市機能を強化し、利便性を高めることによる賑わいの向上」については通行量の平成28年度実績は4,680人と推察したトレンド値を下回り、前年に対しても大きく減少している。要因としては、大型スーパーの移転などにより中心市街地の衰退化が進んでいると考えられる。観光施策と連携した新たな来街機会の創出による歩行者の増加に向けた取り組みが必要である。

目標②の「歴史と文化を活かした新たな魅力の発掘による交流人口の増加」については、目標

値には達しているが、入館者数は、直方谷尾美術館を除いて前年度から減少しており、その回復を図るためには特徴ある街路整備や案内板の設置といった相乗効果を見込める事業に取り組む必要があるとの報告がなされた。

(4) その他

直方市都市計画課より、昨年より3か年計画で策定している立地適正化計画について報告がある。平成28年は、アンケート調査を実施し市の現状と課題の抽出を行った。本年度は、それをもとに協議会を設置し、計画案の策定を行う予定であるとの報告がなされた。

以上により、議事が終了したので11時30分閉会した。